

社団法人 巨樹の会

新武雄病院

おおくす

創刊特集

新武雄病院 新たな旅立ち

Contents

理事長挨拶「創刊にあたって」

樋渡武雄市長からの寄稿

医局紹介／新入職員紹介／スタッフインタビュー

民間移譲までの変遷／イベント紹介

たけおじゃら〜ん



新武雄病院 新たな旅立ち。

創刊にあたって

当院は、平成22年2月1日より武雄市民病院は民間移譲され、「新武雄病院」として新しく出発いたしました。公的病院の民間移譲は、全国でも初めてのケースで各方面より大きな注目を浴びております。武雄市民病院がこれまで果たしてきた地域医療の役割を引き継ぎ、救急医療や高度医療の面においても発展させて、地域に貢献していきたいと思っております。更には当院が地域医療再生のモデルケースの先頭に立てるよう全力で取り組んでまいります。

さて、季刊誌の創刊につき、新武雄病院の今後について触れたいと思います。

1 おおくす
まず、一番目として救命救急の充実を図ることです。24時間、365日誰もが安心して医療を受けられるように対応するとともに他の医療機関との連携を図っていききたいと思っております。その為には、医師や看護師、医療技術者そして事務が有機的に連携された強い組織を形成できるように職員の教育に努めていきたいと考えております。

次に、療養環境の整備を目指していききたいと思います。現在の病院は国立時代から含めると数十年経過しており医療の充実を図るには限界があります。従いまして、国道34号線沿いに現在新病院の建築を進めており、来年の春に完成予定であります。この新病院では、ゆったりとしたスペースで、患者さまにより安心して安全な医療を提供できる病院にしたいと思っております。

最後に、「患者さま中心の病院」であり続けることです。市民病院が果たしてきた地域医療の役割を引き継いで、生命の尊厳に対する気持ちを忘れず、一人ひとりの患者さまを大切にする医療を心がけて、地域の皆様方の期待に応えるべく邁進していきたいと思っております。そして新しい「市民の病院」として信頼される病院にしたいと思っております。

社団法人 巨樹の会 理事長

鶴崎直邦

プロフィール

佐賀県杵島郡大町町出身、佐賀県立武雄高等学校、九州大学医学部卒。



樋渡啓祐

佐賀県武雄市長

市長寄稿

このたび、社団法人 巨樹の会新武雄病院が開院されましたことに、武雄市民を代表して心よりお祝いを申し上げます。

平成18年の市長就任時、着任早々の部長ヒアリングの場で、思いもよらなかった武雄市民病院の問題が急浮上しました。未曾有の累積赤字と極度の医師不足、そして、真の意味での救急救命医療が武雄になかったという事実です。この武雄市民病院の「三重苦」を迅速に解決し、市民の皆様の健康と命を守るため、民間移譲を決意しました。

武雄市民病院の民間移譲には、賛否を含め市民全体を巻き込んだ議論が行われました。移譲手続きの過程においては、武雄市議会、医療関係者、学識経験者などにより慎重審議され、平成20年7月、医療法人財団池友会グループへの移譲が決定されました。

移譲先が決定した後は、蒲池会長様をはじめとする池友会グループから絶大なる支援を受け、休止していた救急医療の再開、医療環境の充実が図られました。民間移譲を選択し、池友会グループに移譲したことに間違いはなかった、このことを強く確信いたしました。

医療は、公であれ民間であれ、地域医療を担い命と健康を守ることに違いはありません。公だから大丈夫という考えは、今の医療システムの中では成立しませんし、民間病院が核となり地域医療を確立している自治体が、安定した医療サービスを提供している例もあります。

本年2月1日から社団法人 巨樹の会新武雄病院としてスタートを切られ、患者様、市民の皆様の深い信頼の元、順調な歩みを進められていると伺っております。今後、移転新築され看護学校、リハビリ専門学校等も併設されれば、これら医療施設群を核として関連施設が集積していくこととなり、「医療を中心としたまちづくり」の好機、更には全国的なモデルケースになり得るものと確信しています。

蒲池会長様、鶴崎理事長様はじめ池友会グループ各位のこれまでのご支援、ご功績に敬意を表すとともに、さらなるご繁栄を心よりお祈り申し上げます。

平成22年5月

プロフィール

1969年11月18日生まれ、武雄市朝日町川上出身。佐賀県立武雄高等学校、東京大学経済学部卒。



医局紹介

質問

- ①血液型 ②趣味
③武雄に来て驚いたことは
どんなこと?どんなところ?
④今、挑戦していること、
今後挑戦したいことは?



院長 阿部雅光

- ①O型
②テニス、映画、音楽
③いのししがいたこと
選挙に熱心なこと
夜間人通りが少ないこと
④趣味を広げること



院長代行 西田憲記

- ①A型
②犬と散歩
③田んぼが多い
④世界一周旅行



循環器内科部長 手島進

- ①A型
②テニス、ゴルフ
③温泉が多い
④体調改善のため、
禁酒・禁煙を行っています



呼吸器内科部長 池上智美

- ①A型
②音楽鑑賞など
③…
④???



消化器内科部長 吉川敦

- ①O型
②テニスを含む球技
全般、ジョギング、
ピアノ、珠算(暗
算)、旅行
③当直室にムカデが
侵入してきたこと
人・街・自然いずれも
温かい雰囲気であり、
環境に恵まれている
こと
④フルマラソン完走
世界中のディズニー関連
テーマパークを巡る旅



脳神経外科医長 大中洋平

- ①O型
②無趣味ですが、
すぐに影響され
て何にでも手を
出してしまう
こと(特技??)
③人よりイノシシが
多いこと!?
街を歩く人の年齢層
がちよっぴり高いこと
街灯が青いこと
④…



外科医長 徳永裕貴

- ①O型
②公園めぐり
③人混みがない
車が少ない
④釣りを始めたい



整形外科医長 久尚史

- ①O型
②バスケット、読書
③子供さんが挨拶し
てくれること
④活発な武雄バスケ
ット部を作ること
人の輪をひろげる
こと



脊髄脊椎外科医長 土方保和

- ①A型
②寝ること
③引越しの時、業者
が遅れていたら別
の業者が見かねて
ボランティアで手
伝ってくれたこと
(お世話になりました)
…みんないい人
④ダイエット



外科 専修医 藤家雅志

- ①O型
②ラグビー(最近し
ていないけど…)
③カメムシの大量発生
④逆ダイエット
(ウェイトアップ!)



新入職員 紹介 看護部 編

就職して
よかったことを
教えてください



ICU看護師
大坪 里美



就職して早くも2カ月が経過し、働きやすい職場でいろんなことに挑戦できていると感じています。日々の勤務の中で疑問に思うことが多々あるので、その疑問を解決するために日々努力していきたいと思っています。

ICU看護師
香月 美穂



実習の時とは違い、自分の行動が患者さまの命に関わり、常に責任があると思いました。また、自分の持ち時間で患者さまに何が必要かを考え、行動することで良い反応が見られた時、自分の喜びともなり、「もっと勉強しよう!!」と思いました。

スタッフインタビュー 新武雄病院になってからの 病棟はどうですか？



回復期病棟 看護師
土井 八重子



市民病院から新武雄病院に継続して勤務しています。現在は回復期病棟に勤務し、リハビリスタッフのパワーをもらいながら患者様の家庭復帰に向けて共に取り組んでいます。機能回復と共に笑顔で退院される患者様やその家族を見て喜び・やりがいを感じています。

1病棟 副主任
中川 みどり



私たちの病棟は継続で勤務しているメンバーと、新人・応援メンバーの割合は半々です。みんなで新しい病棟を作ろうと頑張っています。新人・応援メンバーは働きやすい雰囲気の職場だと言ってくれます。患者様が笑顔で退院できる様に一人ひとりが責任を持って看護をしていこうと思っています。

民間移譲までの変遷



国立病院時代の受付

当時売店



国立病院時代の外観

武雄市立武雄市民病院から 社団法人 巨樹の会 新武雄病院への 民間移譲の歴史

事務長 諸岡 利幸

1986年政府発表の「国立病院・療養所の再編成」に基づき、佐賀県内においても国立嬉野病院と国立武雄病院の統廃合の計画により、国立武雄病院は廃院することが決定されました。

武雄市では、地域医療を確保するため、平成12年2月に閉院する国立武雄病院の移譲を受け、公営企業としての採算性、経済性を確保することを念頭に置き、地域医療と政策医療である結核医療を担ってきた経緯があります。

しかしながら、開院以来赤字経営が続き平成18年までに多額の累積赤字を抱える状況に陥っていました。それに加え、平成16年度に始まった医師の新臨床研修制度により公立病院に勤務する医師の確保は非常に厳しい状況であり、この状況が長引けば武雄市の財政破綻につながると判断され、平成20年5月に武雄市議会にお

いて民間移譲が選択されました。

同年6月に移譲先法人の公募が開始され、当院のグループ病院の経営母体である池友会と佐賀県内の医療法人の2法人の応募があり、武雄市が設置する選考委員会で池友会が移譲先医療法人として選定され武雄市議会で可決されました。

その後、同年8月から池友会関連施設からの医師の派遣、市民病院の経営指導を目的として、池友会創設者である蒲池顧問みずから医療統括監として着任され、市民病院の立て直しを実施されました。その内容は、地域住民の救急医療を守るため、救急受入の再開、ICU病床の設置、7対1入院基本料の取得、リハビリテーション科職員(理学・作業・言語療法士)を充実させ回復期リハビリテーション

病棟の設置などを行い、赤字経営から黒字経営へと改善されました。

平成22年2月1日に社団法人巨樹の会新武雄病院としてスタートし、救急搬送件数も増加してきております。さらに、市内のバイパス沿いに新病院の建設工事が進められており、平成23年春に完成予定となっています。

今後、新武雄病院は、地域の病院・医院等と連携をとりながら、武雄市住民はもとより地域の住民の健康を守るため、日々努力してまいります。



武雄市民病院時代の外観

完成イメージ図



新病院について

長崎自動車道「武雄北方インター」より約2kmの国道34号線沿いに、平成23年春の完成を目指して新築移転の病院建設の起工式を平成22年3月27日に執り行いました。

新病院は、屋上にヘリポートを有する8階建ての病院が完成予定であります。

この新病院には職員寮を始め、看護・リハビリテーション学校、歯科、調剤薬局も併設する予定であります。

第26回 ACN旗争奪大会 準優勝 新武雄病院 DMAT



H22.4.25 有田赤坂球場にて

試合結果

4月18日(日)

第一試合

西有田ヤンキース 0対2 新武雄病院

第二試合

ロジャーラビッツ 0対1 新武雄病院

4月25日(日)

準決勝

アッタカズ 1対2 新武雄病院

(前年度優勝チーム) (特別ルールにてサヨナラ勝ち)

決勝

新武雄病院 0対3 池田ファーム

優勝 池田ファーム(有田地区)

準優勝 新武雄病院(武雄地区)

昨年より、旧武雄市民病院職員にて発足した野球部です。メンバー構成は事務部、医療技術部、看護部の総勢30名で構成しています。残念ながら昨年は活動機会に恵まれず、練習のみに終わっていましたが、今年は、有田ケーブルネットワーク旗争奪大会に出場することができ、初出場で準優勝をすることができました。

今回は、残念ながらフルメンバーでは戦うことができませんでしたが、抜群のチームワークによって初出場で準優勝という輝かしい成績を残すことができました。また閉会式の総評では、西山峰二大会会長より新武雄病院について御紹介がありました。その言葉の中で「われわれは新武雄病院の発展に大変期待してます」との言葉があり、地域からの期待感が強く強く感じられました。また大会出場チームにおいても21チームという大きな大会であり、有田・伊万里地区において広報活動も十分できたと考えます。

今後も野球を通して地域との交流を深めて生きたいです。

プール開き



平成22年5月2日(日)に玄海サンセットで毎年恒例の関連病院の職員を含めてのプール開きを行いました。

晴天にも恵まれ、皆和気藹々と手作り餃子を作ったり、バーベキューをしながらお酒を片手に職場を越えての交流を楽しみました。

このプール開きも交流を深める良いきっかけとなる行事になりました。

円応寺での花見 (3月30日)



去年と同様、今年も新武雄病院近くの円応寺で花見が行われました。

新入職員を迎え満開の桜のもと、バーベキューやイノシシ鍋に舌鼓をうちました。

今年は花見をできていなかった職員も多く、ここぞとばかりに盛り上がり、また新入職員との親睦も深めることができました。

たけお じゃらん



露天風呂・サウナ付きの温泉施設です。
泉源の泉質はさまざまな成分が程よく入った弱アルカリ単純泉、保
温性に優れ、美肌をつくる泉質として有名です。

新武雄病院がある武雄市は、観光地として知られている武雄温泉が有名です。

今回、武雄温泉を代表する有名な「武雄温泉楼門」に行ってきました。

武雄温泉は「肥前風土記」の中に登場することから、古くは神功皇后も入浴されました。1300年も前からある温泉で、江戸時代には長崎街道の宿場町として栄え、歴史上名高い宮本武蔵やシーボルト、伊達政宗や伊能忠敬なども入浴した記録が残っています。朱門を抜けると、共同浴場がいくつかあり、鷺ノ湯へ行ってきました。

近場…(新武雄病院より車で5、6分)ということもあり、いつでも行けるような気がしました。

お湯は、熱くなく、ぬるくなくいい湯でした。

帰宅してから、疲れがとれたのか、体が軽く、すぐ夢の中へはいれました。

(医事課 高倉、地域医療連携室 横田)

おおくすについて

クスノキはクスノキ科ニッケイ属の常緑高木で、市内の各地に植生しています。

中でも「川古の大楠」は国の天然記念物の指定を受け、樹齢は三千年以上と推定されています。また、「武雄の大楠」と「塚崎の大楠」は、市の天然記念物に指定されており、多くの市民から親しまれています。



交通アクセス

武雄北方インターを降り、料金所を出て右側の上り坂(鹿島方面)へ進み国道34号線へ。
そのまま直進し白岩球場入口交差点を右折後、4つ目の信号機(黄色点滅)を右折。山の方に進むと新武雄病院が見えてきます。

社団法人 巨樹の会

新武雄病院

〒843-0024 佐賀県武雄市武雄町大字富岡11083番地

TEL:0954-23-3111 FAX:0954-23-0208

ホームページ <http://www.shintakeo-hp.or.jp>
Eメール info@shintakeo-hp.or.jp